

第 18 号様式 (表紙)

提出は、揚水施設を設置している法人または個人(届出者)となります。住所(法人の所在地)・法人名(名称)・代表者名(または個人名)を記入してください。

第 18 号様式 (第 45 条関係)

地下水揚水量

〇〇工場 殿

年 月 日

住所 〇〇区△△町 9-9-9
株式会社◎◎◎◎

氏名 代表取締役 東京 太郎
(法人にあっては名称、代表者の氏名及び住所の所在地)

都民の健康と安全を確保する環境に関する条例 第 97 条 の規定により、地下水の揚水量を次のとおり報告します。

工場・指定作業場又はその他の事業場等の名称	株式会社◎◎◎◎ △△工場			
工場・指定作業場又はその他の事業場等の所在地	〇〇区△△町 9-9-9			
業種・作業の種類	食料品製造業			
揚水施設の数	1 本	揚水施設担当者所属氏名 越後 謙 新宿一丁目 電話番号 03-XXXXX-XXXX		
地下水揚水量	3,060 m ³ △別紙 (1) のとおり			
揚水機の出力 (kW)	1.5 kW			
年間水源別水使用量	地下水	上水道	工業用水道	その他
61,200 (m ³) (その割合)	3,060 m ³ (5 %)	58,140 m ³ (95 %)	(%)	(%)
※受付欄	備考 1 吐出口断面積 (該当に○) 6 cm以下 6 cm超~21 cm以下 21 cm超 2 設置年月日 (該当に○) 平成 13 年 3 月 31 日以前設置 平成 13 年 4 月 1 日以降設置			

(日本産業規格 A 列 4 番)

押印は不要です。

主たる業種や形態をわかるように記入してください。

原則、ポンプでくみ上げを行うすべての揚水施設が対象です

内容についてお問い合わせすることがあります。報告書を記入された方の連絡先を記入してください。

事業所で使用している、「総水使用量」です。各水源を合計してください。

地下水使用量は、別紙 1 の総合計と同じ数値になります。

吐出口断面積 (事業所内合計)、井戸の設置年について、該当するものに○をしてください。

別紙 1

別紙1は、事業所の揚水量総計を記入する用紙です。

別紙2の合計を別紙1に記入します。

用途ごとに水量を計測していない場合は、通常の使用比率等で合計値を案分して、用途ごとに振り分けて記入してください。

地下水揚水記録 (□□ 年分)

事業所の名称

別紙1 (総計用)

事業所名 株式会社○○○○ △△工場

稼働日数	揚水量 (m ³)	用途別揚水量内訳 (m ³)							一日平均揚水量 (m ³)	日最大揚水量 (m ³)	水位 (m)		水温 (℃)		
		製造工程用	冷却用	冷暖房用	水洗便所用	洗車設備用	公衆浴場用	その他 (1 飲用) (2 散水用)			静止水位	揚水水位			
1月	20	200	135						15	50	6.5	1.5	3	8	17
2月	19	180	135						15	30	6.4	1.2	3	9	17
3月	22	260	210						20	30	8.4	1.1	3	9	17
4月	22	270	210						20	40	9.0	1.5	3	8	18
5月	23	290	220						20	50	9.4	1.4	3	9	18
6月	22	280	210						30	40	9.3	1.3	3	8	18
7月	23	290	210						30	50	9.4	1.7	4	10	18
8月	19	260	130						30	100	8.4	1.4	4	10	18
9月	22	280	150						30	100	9.3	1.5	4	8	18
10月	23	300	230						20	50	9.7	1.5	3	8	17
11月	22	280	210						20	50	9.3	1.5	3	9	17
12月	19	170	125						15	30	5.5	1.0	3	9	17
計	256	3,060	2,175						265	620	8.4	1.7			

表紙の「地下水使用量」と同じ値。

その他の用途のコードは、一覧表をご確認ください。
複数種類ある場合は、枠を分けてそれぞれ記入してください。

月の最低値を記入します。

一日平均揚水量 (月ごと) は、
 $\frac{\text{揚水量}}{\text{暦日}}$ です。
例) 1月の平均は月の稼働日が20日でも、
 $200 \text{ (m}^3) \div 31 \text{ (日)} = 6.5 \text{ (m}^3/\text{日)}$ です。
一日平均揚水量 (年) は、
 $3,060 \text{ (m}^3) \div 365 \text{ (日)} = 8.4 \text{ (m}^3/\text{日)}$ となります。

備考 1 揚水量が0の場合、総計用のほか、各揚水施設別に別紙を使用して記入すること。
2 「1日平均揚水量」の欄は、揚水量を暦日(例 1月:31日、2月:28日又は29日)で除した値で記入すること。
3 用途別の揚水量を把握していないときは、「用途別揚水量内訳」の欄は推計で記入すること。
4 水位はその月の最低値を記入すること。

別紙 2

別紙2は井戸ごとの揚水量を記入する用紙です。

用途ごとに水量を計測していない場合は、通常の使用比率等で合計値を案分して、用途ごとに振り分けて記入してください。

地下水揚水記録 (〇〇年分)

別紙2 (揚水施設の名称又は番号: **No. 1号井**) 事業所名 **株式会社〇〇〇〇** △△工場

稼働日数	揚水量 (m ³)	用途別揚水量内訳 (m ³)							一日平均揚水量 (m ³ /日)	日最大揚水量 (m ³ /日)	水位 (m)		水温 (℃)
		製造工程用	冷却用	冷暖房用	水洗便所用	洗車設備用	公衆浴場用	その他 (2 載水用)			静止水位	揚水水位	
1月	20	160	135					25	5.2	8.0	3	8	17
2月	19	150	135					15	5.4	8.0	3	9	17
3月	22	225	210					15	7.3	10	3	9	17
4月	22	230	210					20	7.7	10	3	8	18
5月	23	245	220					25	7.9	10	3	9	18
6月	22	230	210					20	7.7	10	3	8	18
7月	23	235	210					25	7.6	9.0	4	10	18
8月	19	180	130					50	5.8	7.0	4	10	18
9月	22	200	150					50	6.7	8.0	4	8	18
10月	23	255	230					25	8.2	10	3	8	17
11月	22	235	210					25	7.8	10	3	9	17
12月	19	140	125					15	4.5	6.0	3	9	17
計	256	2,485	2175					310	6.8	10			

備考 1 「一日平均揚水量」の欄は、揚水量を稼働日数 (例: 1月: 31日、2月: 28日又は29日) で除した値で記入すること。
 2 用途別の揚水量を把握していないときは、「その他揚水量内訳」の欄は推計で記入すること。
 3 水位はその月の最低値を記入すること。

その他の用途のコードは、一覧表をご確認ください。
 複数種類ある場合は、枠を分けてそれぞれ記入してください。

一日平均揚水量 (月ごと) は、
 $\frac{\text{揚水量}}{\text{暦日}}$ です。
 例) 1月の平均は、稼働日が20日でも、
 $160 \text{ (m}^3\text{)} \div 31 \text{ (日)} = 5.2 \text{ (m}^3\text{/日)}$ です。
 一日平均揚水量 (年) は、
 $2,485 \text{ (m}^3\text{)} \div 365 \text{ (日)} = 6.8 \text{ (m}^3\text{/日)}$ と求めます。

その他の用途が複数ある場合の例

地下水揚水記録 (□□ 年分)

(業所名 株式会社○○○○○ △△工場)

✕ 3つの用途の合計値を1列で記入してしまっています。

	内訳 (m)	洗車設備用	公衆浴場用	その他		一日平均揚水量 (m)	日最大揚水量 (m)	水位 (m)		水温 (℃)	
				1、2、4	3			静止水位	揚水水位		
3月	22	225	210			25	8.2	3	8	17	
4月	22	230	210			15	8.0	3	9	17	
5月	23	245	220			15	1.0	3	9	17	
6月	22	230	210			20	1.0	3	8	18	
7月	23	235	210			25	9.0	4	10	18	
8月	19	180	130			50	7.0	4	10	18	
9月	22	200	150			50	8.0	4	8	18	
10月	23	255	230			25	8.2	1.0	3	8	17
11月	22	235	210			25	7.8	1.0	3	9	17
12月	19	140	125			15	4.5	6.0	3	9	17
計	256	2,485	2175			310	6.8	1.0			

備考 1 「1日平均揚水量」の欄は、揚水量を暦日数(例 1月:31日、2月:28日又は29日)で除した値で記入すること。
2 用途別の揚水量を把握していないときは、「用途別揚水量内訳」の欄は推計で記入すること。
3 水位はその月の最低値を記入すること。

○ 3つの用途に案分します。⇒

例) 飲用にはいつも同じ量を使い、そのほかは、散水と洗濯に半分ずつ使用している場合。

明確な根拠が無い場合でも、設置者様の考える案分で数値の記入をお願いします。

望ましい例

地下水揚水記録 (□□ 年分)

(業所名 株式会社○○○○○ △△工場)

	内訳 (m)	その他		一日平均揚水量 (m)	日最大揚水量 (m)	水位 (m)		水温 (℃)			
		1 (洗車設備用)	2 (公衆浴場用)			4 (洗濯用)	3		揚水水位		
	5.0	10	10	5.2	8.0	3	8	17			
	5.0	5.0	5.0	5.4	8.0	3	9	17			
	5.0	4.1	6.0	7.7	1.0						
	5.0	7.0	8.1	7.7	1.0						
	5.0	10	10	7.9	1.0						
	5.0	7.0	8.0	7.7	1.0						
	5.0	10	10	7.6	9.0						
	5.0	22	23	5.8	7.0						
	5.0	22	23	6.7	8.0						
	5.0	10	10	8.2	1.0						
	5.0	10	10	7.8	1.0						
12月	19	140	125	5.0	5.2	5.2	4.5	6.0	3	9	17
計	256	2,485	2175	60	122	128	6.8	1.0			

備考 1 「1日平均揚水量」の欄は、揚水量を暦日数(例 1月:31日、2月:28日又は29日)で除した値で記入すること。
2 用途別の揚水量を把握していないときは、「用途別揚水量内訳」の欄は推計で記入すること。
3 水位はその月の最低値を記入すること。

「その他」の用途が2つ以上ある場合は、使わない欄の用途を書き換えて、記入してください。

1年間稼働しなかった場合の記入例

地下水揚水記録 (□□ 年分)

別紙2 (揚水施設の名称又は番号: **No. 1号井**) 事業所名 **株式会社**

稼働日数	揚水量 (m ³)	用途別揚水量内訳 (m ³)							一日平均揚水量 (m ³)	日最大揚水量 (m ³)
		製造工程用	冷却用	冷暖房用	水洗便所用	洗車設備用	公衆浴場用	その他 ()		
1月										
2月										
3月										
4月										
5月										
6月										
7月										
8月										
9月										
10月										
11月										
12月										
計	0	0								

1年間、1日も稼働しなかった場合は、稼働日数と揚水量に「0」を記入してください。

備考 1 「一日平均揚水量」の欄は、揚水量を暦日数 (例 1月:31日、2月:28日又は29日) で除した値で記入すること。
2 「用途別の揚水量を把握していないときは、「用途別揚水量内訳」の欄は推計で記入すること。
3 「その他」の欄は任意で記入すること。

年の途中で休止 (廃止) になった場合の記入例

地下水揚水記録

別紙1 (総計用)

稼働日数	揚水量 (m ³)	用途別揚水量内訳 (m ³)							一日平均揚水量 (m ³)	最大揚水量 (m ³)	静止水位	水温 (℃)		
		製造工程用	冷却用	冷暖房用	水洗便所用	洗車設備用	公衆浴場用	その他 (1 飲用) (2 取水用)						
1月	20	200	135					15	50	6.5	1.5	3	8	17
2月	19	180	135					15	30	6.4	1.2	3	9	17
3月	22	260	210					20	30	8.4	1.1	3	9	17
4月	22	270	210					20	40	9.0	1.5	3	8	18
5月	23	290	220					20	50	9.4	1.4	3	9	18
6月	22	280	210					30	40	9.3	1.3	3	8	18
7月	以降、休止 (廃止)													
8月														
9月														
10月														
11月														
12月														
計	128	1,480	1,120					120	240	4.1	1.5			

年の平均は、暦日の365日で割ります。
 $1,480 \text{ (m}^3\text{)} \div 365 \text{ (日)} = 4.1 \text{ (m}^3\text{/日)}$ と求めます。

備考 1 揚水施設が2以上あるときは、総計用のほか、各揚水施設別に別紙を使用して記入すること。
2 「一日平均揚水量」の欄は、揚水量を暦日数 (例 1月:31日、2月:28日又は29日) で除した値で記入すること。
3 用途別の揚水量を把握していないときは、「用途別揚水量内訳」の欄は推計で記入すること。

注) 年の途中で廃止した場合は、手続きが必要です。環境保全課までお問い合わせください。連絡先は「2021年地下水揚水量報告のお願い (依頼)」の文書に記載しています。

別表 用途区分（別紙1、2用）

用途	用途別の内容
製造工程用	製造工程に関する全ての用途に使用（食品原料用に使用するものを含む。）
冷却用	工場の機械冷却設備や製品冷却のために使用
冷暖房（空調）	暖房ボイラー、冷房用冷凍機、クーリングタワー等、室内空調用などに使用
水洗便所用	水洗便所用に使用（し尿浄化槽を含む）
洗車設備用	自動車洗車設備用
公衆浴場用	公衆浴場用（銭湯、スーパー銭湯、サウナ風呂等の特殊浴場を含み、旅館、病院等の浴室用は除く。）
その他 (コード番号を選択して記入してください。)	1 飲用（上水道、専用水道、飲料水、厨房など）
	2 環境用水（水質改善を目的とした池・水路への補給、植栽用・散水など環境保全に使用）
	3 プール等、公衆浴場用以外の浴用（旅館、病院等の浴室用）
	4 洗濯（クリーニング工場、コインランドリー等を含む。）
	5 排水処理・排ガス処理（し尿処理用希釈水を含む。）
	6 釣堀等（生糞・動物飼育用に使用するものを含む。）
	7 土壌汚染対策用、地下水汚染対策用
	8 非常災害用（非常災害用揚水設備等の維持管理で揚水するものを含む。）
	9 農業用、その他上記のどれにも属さないもの

再利用使用する場合は、最初の用途を選択してください。

例) 井戸 → 冷却水使用 → タンク → 床清掃使用 → 排水 の場合、「冷却用」を選択。